

記載例

※記載すべき項目については以下の凡例を確認すること

局数を記入すること。

1 枚目

無線局事項書及び工事設計書				
1	免許の番号			(〇局分)
2	申請(届出)の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 開設	<input type="checkbox"/> 変更	<input type="checkbox"/> 再免許
3	無線局の種別コード	CR		
4	開設、継続開設又は変更を必要とする理由	例) 弊社は〇〇業を営んでおり、業務の効率化を図るため、簡易無線局を開設したく申請いたします。		
5	法人団体個人の別	<input type="checkbox"/> 法人 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> 個人		
6	住所	都道府県—市区町村コード 〒(****-****) **県**市**町*-*		
		電話番号(***-****-****) フリガナ カヅシカ イヤ△△△△		
7	氏名又は名称及び代表者氏名	株式会社△△△△		
8	希望する運用許容時間			
9	工事落成の予定期日	<input type="checkbox"/> 日付指定: _____		
		<input type="checkbox"/> 予備免許の日から____月____日の日		
		<input type="checkbox"/> 予備免許の日から____日目の日		
10	運用開始の予定期日	<input type="checkbox"/> 免許の日		
		<input type="checkbox"/> 日付指定: _____		
		<input type="checkbox"/> 予備免許の日から____月____日以内の日		
11	無線設備の設置場所又は常置場所	<input type="checkbox"/> 設置場所 <input checked="" type="checkbox"/> 常置場所		
	区分	都道府県—市区町村コード [_____]		
	住所	**県**市**町*-*		
	船舶名	フリガナ _____		
主たる停泊港又は定置場		_____		
12	移動範囲	基本コード [E]	付加コード [_____]	
		基本コード [_____]	付加コード [_____]	
13	無線局の目的コード	CR	A	<input type="checkbox"/> 従たる目的
14	通信事項コード	CR		
15	通信の相手方	免許人所属の簡易無線局		
16	識別信号	100000000~10000005		
17	電波の型式並びに希望する周波数の範囲及び空中線電力	5K80 F1D F1E 467MHz~467.4MHz 6.25kHz間隔 65波 5W		
18	送信機	ATIS番号		
		個体識別コード		
		検定番号		
		適合表示無線設備の番号	001*****	
19	空中線	製造番号	*****	
		空中線型式等	基本コード	付加コード
		高さ(m)	偏波面コード	
利得(dBi)				
20	附属装置	コード	D	
		補足事項		
21	その他の工事設計	<input type="checkbox"/> 電波法第3章に規定する条件に合致する。		
22	備考			

開設理由を業種も含め明確に記載すること。

法人・団体・個人の別にチェックをつけること。

無線機を管理する場所を記入すること。

移動範囲を示すコード(付加コード含め)を記入すること。

この欄に呼出符号(9桁のCSM番号)を記入すること。

横に記載の英数字列を記載すること。

電波型式「F1D」を希望される場合はコードに「D」を記載すること。

【重要】工事設計が電波法第三章に規定する条件に合致する場合はチェックをつけること。

凡例	必ず記載・チェックする欄
	記載する必要がある部分のみ記載する欄 (必要がない場合は空白で可)
	このとおり記載する欄
	記載不要の欄